

# 3-F リュウキュウマツの巨木 (琉球松)

## ■リュウキュウマツの巨木評価基準

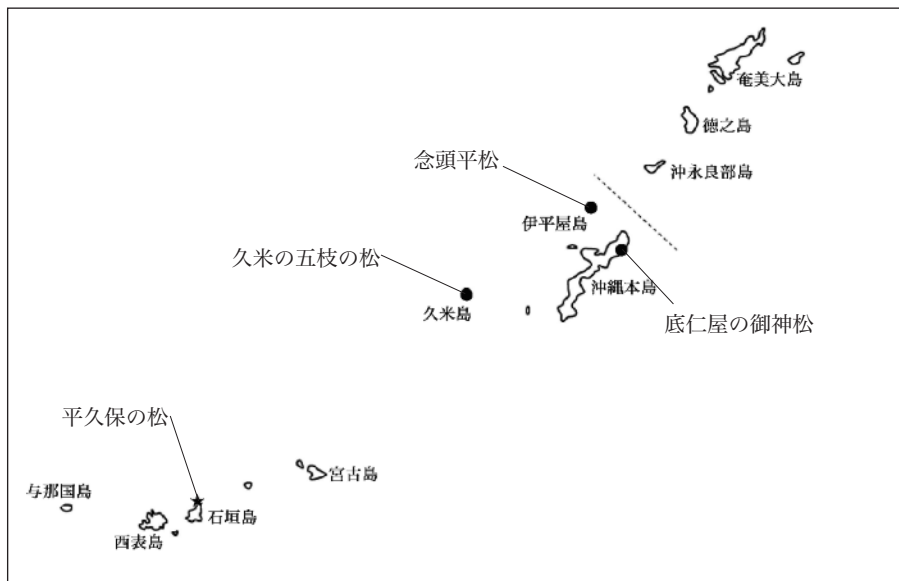
- A 仕立て松の場合、幹周おおむね 3m 以上で、樹冠周囲 80m 以上。  
天然樹形の場合、幹周 6m 以上、同等評価のリュウキュウマツの巨木。
- B 仕立て松の場合、幹周おおむね 2~3m で、樹冠周囲 50~80m、  
天然樹形の場合、幹周 3~6m、同等評価のリュウキュウマツの巨木。
- C B 評価以下のリュウキュウマツの巨木。

## ■リュウキュウマツの巨木

2015 年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	念頭平松(仕立て松) 写真 RM-001	3.7m 枝張り 550m <sup>2</sup>	7.8m	沖縄県伊平屋村田名	県
A	久米の五枝の松(仕立て松) 写真 RM-002	4.0m 枝張り 500m <sup>2</sup>	6m	沖縄県久米島町上江洲カンジン原	国
B	平久保のリュウキュウマツ 写真 RM-003	5.2m	15m	沖縄県石垣島平久保	なし
C	底仁屋の御座松 写真 RM-004	4.7m	10m	沖縄県名護市天仁屋	市
C	朝仁の千年松 写真 RM-005	3.8m	13m	鹿児島県奄美市名瀬朝仁新町	なし



### ▼写真 RM-002

#### 久米の五枝の松

根元から分岐した 5 本の幹が地面を這うように伸び、見事な傘型の樹形を形成している。地元の地頭職であった上江洲氏の伝記によれば、1839 年(天保 10)に二代目の松に植え替えたという。さすれば樹齢 180 年程である。(写真・Web 画像)





◀写真 RM-001

ねんとろひらまつ  
念頭平松

伊平屋島は沖縄本島の北側にある小さな島。今から500年前に「兄松」と呼ばれた素晴らしい松があったが、隣村の者が伐採してしまった。その祟りでこの男は亡くなってしまい、男の親戚がお詫びにと植えたのが現在の松である。一帯は「念頭平松公園」として整備されている。

(写真・Web画像)



▲写真 RM-003

ひらくぼ  
平久保のリュウキュウマツ

平久保の安良越道(やすらくいつ)沿いにあるリュウキュウマツの巨木。樹皮は一般のリュウキュウマツのように茶褐色ではなく、主幹全体が灰色を帯び、樹皮が剥離している。老年期にさしかかった巨木といえる。

(写真・Web画像)



▲写真 RM-005

そこにあやごしんまつ  
底二屋の御神松

天仁屋小学校の校門の向かいに立っている。地元では「スーナのウカミマーチ」と呼ばれている御神木。戦時中は出征する兵士の無事を祈って、多くの人々がこの樹下で願掛けをしたと伝えられている。根元近くで3分岐し、大きく枝葉を広げている。

(写真・Web画像)

写真 RM-005▶

あさにせんねんまつ  
朝仁の千年松

(写真・Web画像)

